

AAA+ のコンテンツ (メタスクリプト・セット) 作成

簡易説明版

AAA+ が実際に読み込むファイルは、ユーザが編集した UTF-8 形式のテキストファイルをコンパイルした結果生成されるファイルです (「AAA+のコンテンツ(メタスクリプト・セット)の登録設定」を参照)。ここでは、この UTF-8 形式のテキストファイルの作り方を説明します。このファイルを便宜的にソースファイルと呼ぶことにします。

UTF-8 形式のファイルが編集できる適当なエディタで編集します。「メモ帳」でも編集できます。保存するとき、形式が UTF-8 であることを確認してください。UTF-8 を識別する BOM の有無は無視してかまいません (無いほうが望ましい)。

ソースファイルは、1) ヘッダ部分と 2) メタスクリプト定義部分で構成されています。

1) ヘッダ部分の構成要素

- ## AAA(TUFS-IME) Unit Table and Extentional Dictionary Source. Format=ASTI2005
- ## コメント
- [unit:Description]
- [unit:Function_Key]
- [unit:Options]

ヘッダ部分の大部分はどのソースファイルでも共通なので、コピーして必要な部分のみを修正すると時間の節約にもなりミスタイプも避けることができます。

2) メタスクリプト定義部分の構成要素

- [Single]
- [Phrase]

メタスクリプト定義部分は一定した単純な形式なので、長大なメタスクリプト定義を作成する場合は、使い慣れているエディタ(秀丸など)、データベースソフト (Excel など)、スクリプト言語 (perl、awk など) などを使用すると効率的です。

以下、簡単なソースファイルのサンプルを例に説明します。

下はソースファイル (UTF-8 形式) のサンプルです。

の部分はユーザが自由に決めることができ、の部分ではあらかじめ決まっていることをあらわします。

```
## AAA(TUFS-IME) Unit Table and Extentional Dictionary Source. Format=ASTI2005
## This is a sample.
[ unit:Description ]
Locale Name: giveaway
Layout Name: 顔文字
MaxCodes: 32
[ unit:Function_Key ]
PageUp: [< ^P
PageDown: ]> ^N
BackSpace: ^H ^?
ClearAll: ^A
[ unit:Options ]
KeyByKey_Mode: ON
HelpInfo_Mode: ON
AutoSelect_Mode: ON
KeyPrompt_Mode: ON
SelectKey_Mode: None
[ Single ]
a あ
i い
u う
e え
o お
[ Phrase ]
akubi \ (~o~) / あくび
egao (^.^) 笑顔口つき
egao (^ム^) 笑顔鼻つき
egao ( ^o^ ) 笑顔ほっぺつき
nakigao (T.T) 泣き顔
nakigao .. ` (ノ><)ノ 泣き顔動きつき
```

行頭が'##'の行はコメント行です。'##'以降行末までの記述は無視されます。

先頭行にはこの記述がされている必要があります。この記述がないとコンパイル時にエラーとなります。

コンパイル時生成されたファイルを置くフォルダ名です。

AAA+で表示される名前です。

入力文字 (変換候補を確定するまで) の最大数です。Menu から Show Input Keystrokes を ON にした場合の最大表示文字数でもあります。32 以下に設定してください。

ON は、1 文字入力ごとに変換候補を表示 (incremental search) します。OFF は、1 ~ 複数文字入力後エンターキーを押すことで変換候補を表示します。

AAA+から無効になりました。補助用の入力文字表示は、現在 Menu から Show Input Keystrokes を ON/OFF することで可能です。

変換候補が 1 つしかない場合、ON は自動確定し、OFF はユーザが確定する機能です。OFF は Extensive Information 表示に適しています。

現在無効なスイッチです。

変換候補表示の左の候補表示連番を Number (1, 2, 3, ...)、Upper (A, B, C, ...)、Lower (a, b, c, ...) で切り替われます。候補表示連番の文字を入力すると最優先でその変換候補が確定されます。None はこうした表示・機能を選ばない選択になります。

[Single] と [Phrase] 以下の各行が実質的なメタスクリプト定義部分です。各行の形式は、Key+Word+Extensive Information です(+はタブ)。EI は HTML で記述できます。ただし 1 行で。EI の有無は自由です。文字列長の最大値 (bytes) は、Key(32), Word(254), EI(4000) です。これらがそれぞれの最大値を超過している場合、コンパイル時に自動的に超過分を切り捨てます。[Single] は、Word 部分が単一文字コードのみを前提としています。[Phrase] には制限がなく単一文字コードも記述できます。各行の順番は自由です。行数の制限は特にありません